

株式会社

東北バイオフード
リサイクル

事例 01

メタン発酵処理残渣から製造したバイオ肥料等の利用促進

調達

生産

流通

消費

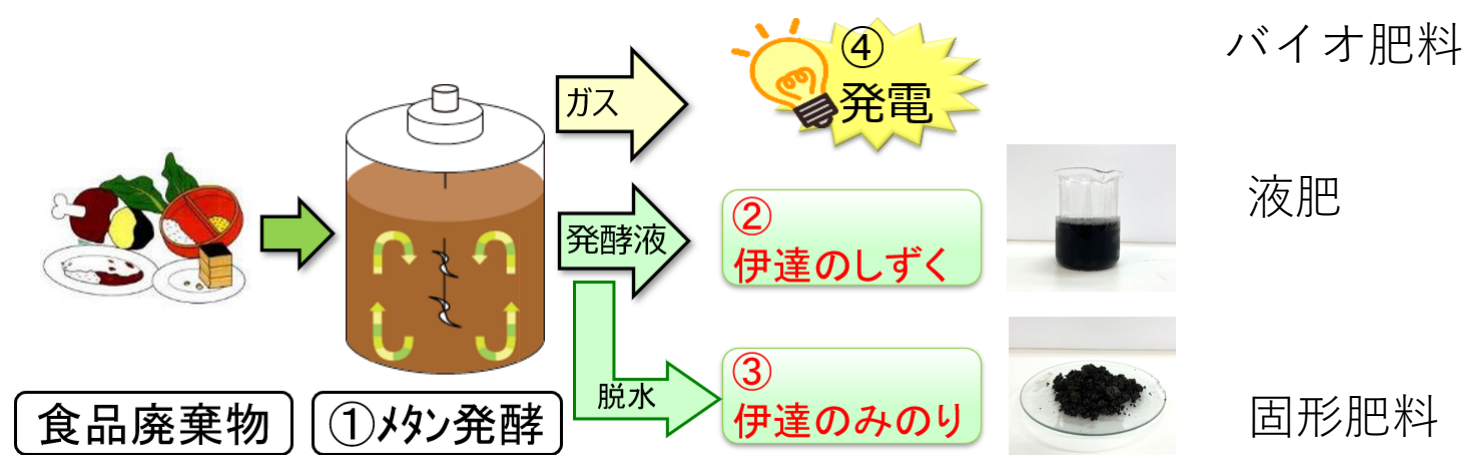
取組概要

【目的】

食品廃棄物をメタン発酵処理によって発生するバイオ肥料を地域の農地等へ提供し、資源の地産地消と地元農業の活性化を図る。

【内容】

- 1 メタン発酵の過程で発生する発酵液（液肥）及び発酵液の脱水固形物（固形肥料）の2種類のバイオ肥料を普通肥料（污泥肥料）として有効活用する。
- 2 バイオ肥料を地元農家に提供し、化学肥料の代替として利用できることを確認する
（今年度、農家4箇所、22ha、3品目212t 実証）



取組の成果

- 1-1 従来は焼却処理していたメタン発酵処理残渣を肥料化することで環境負荷・エネルギー負荷及びコストを低減した。
※固液分離し、固形分は焼却処分、液体分は窒素除去し、下水放流
- 1-2 バイオ肥料活用により、化学肥料の使用量低減とともに収量増やうまみ向上の達成もできた。
- 1-3 仙台市内を中心としたスーパーやコンビニ、飲食店、食品工場等で発生する食品廃棄物の再利用
- 2 地域で発生した廃棄物をリサイクルして発生したバイオ肥料を農地還元し、農作物を栽培することで循環型農業の構築が可能となる

取組に対するコメント

当社は食品廃棄物を肥料だけではなく電力もリサイクルしており地産地消型の循環利用推進とサーキュラーエコノミー達成を目指しています。



代表取締役社長 宇田川 悟 氏
取締役工場長 石井 有光 氏

